

立川

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2022

Écoutez Bien Vol.38 No.446

5

川内優輝、思い出の立川で語る

表紙／立川から見る日の出(グランデュオ立川屋上より)



小金井橋の桜

花見弁当には卵焼きとかまぼこ

今年の花見は歩きながらで、宴会なし。淋しくもあり、

しかしまた花をよく愛でることができるとい意見もあり。

徳川中興の祖、八代將軍吉宗が、享保の改革期に鷹狩の御成先へ順次桜や桃を植樹させ、民も花を楽しんだそうだが、隅田川と玉川上水の堤の桜は今もお東京の桜の名所となっている。

多摩郡押立村（現在の府中市押立町）の名主川崎平右衛門が、町奉行で地方御用を兼ねた大岡越前守忠相の内意により植樹したといわれるのが「小金井橋の桜」。川崎平右衛門は農民の出身で幕府代官にまで出世した人物。武蔵野新田の安定化に貢献した。桜を植える理由は人を集めるため

とも、土地之もの共申居、右植附皆出来之義者、元文二己年二而、文化七年二至り、桜木千本有候趣、鈴木新田地先上水縁二有之碑文二相見、佐野備前守題額も有之、村方申立之通相違無御座候

だとしている。当時武蔵野に人を集めることは、開発新田村の発展にとって必要だったのだろう。吉宗も「花おほく咲なば人もあつまり。をのづから土民のたすけともなるべし」としていたくらい、花は人を魅了するものらしい。



川崎平右衛門が植えた桜は、人を集めるだけでなく、根を深く張って堤の崩壊を防ぎ、さらには解毒作用までとしている。花は賑わいを創出し、民の暮らしも守ってくれるすばらしい存在なのだ。

ところで、落語に「長屋の花見」という噺がある。黄色い沢庵を卵焼きに見立て、白い大根はかまぼこに。一升瓶が三本もあるが、中は番茶を煮出して薄めたものらしい。毛氈はムシロだから、店子が横に並んで座ればまさに物乞い。貧乏長屋の花見にも、見立てとはいえ卵焼きとかまぼこがあるくらいだから、きつとお大尽の花見弁当はグツと豪華にできているのだろう。

世の中は地獄の上の花見かな（小林一茶）

金橋桜植添申上
右桜木之義ハ、享保之度武蔵野新田開発之砌、川崎平右衛門支配中、和州吉野之桜種を取寄、苗木相仕立、上水両縁江植付候義二有之、数珠之桜木繁茂致、根入深く蔓り候得者、両縁欠崩之憂無之、桜ハ水毒を消し候もの二付、花実上水へ落入、おのつから水毒之憂無之との御趣意二付、御恩沢之難有事

35才今が全盛期!

すべてを糧にして、自分で選んだ道を走る

川内優輝さん。箱根駅伝予選会で出会い、日本を代表するトップランナーに成長していく姿を、立川からずっと応援してきた。プロとなって、今何を語ってくれるのか。

—「えくてびあんの取材を受けるなら立川で」と言ってくださったのが感激でした。

川内 私の地元で取材を受けても意味がないです。それに私が妻と出会ったのは立川から派遣されたニューカレドニアですから。妻は松江の大会で優勝して、私は立川で開催された日本学生ハーフマラソンで派遣されました。— そうだったんですね!立川も変わりましたでしょう?

川内 びっくりしました。自分が大学を卒業してから、弟たちや学習院の後輩の応援に箱根の予選会には来ていたのですが、去年は学習院が予選会を落としまして、それにコロナもありましたからね、しばらく立川に来ていなかったのです。「えくてびあん」にも書いてくださったように、箱根に行けない大学にとっては立川が箱根です。そこに出入れなかったというのは私もショックでした。

—川内さんが4年生だった時に、初めて取材させていただきました。川内さんを箱根に押し出すために、他の学生さんたちが、長距離じゃない人も一緒に頑張っていましたよね。

川内 当時はそれができたんです。予選会の資格に5000mもありましたから。でも、今は10000mだけなんです。そうすると、学習院のハードルも高くなりました。

—今日は、ハーフマラソンや予選会のコースが見えるところでお話をうかがおうと思いました。あいにくのお天気になってしまいましたが、「公務員ランナー」時代、「公務員のくせに」みたいな心ない言葉に、「実業団の選手に言ってくれ」とおっしゃっていましたね。

川内 おっしゃる通り。当時は8時間普通に仕事をしていましたから、そんなこと言われる筋合いはないんです。公務員だった時にあんなにプレッシャーかけられるのだから、プロになったらどうなるんだろうと思っていましたが、ほとんどプレッシャーないですね。ドーハ世界陸上

でひどい結果になった時はどんな仕打ちを受けるのかと思いましたが、公務員時代の東京マラソンで負けた時の方が、よほどひどかったです。—あの時はどうして坊主にしたのですか。

川内 もう收拾がつかなくなりました。周りが盛り上がり過ぎちゃって、誠意を見せないと収まらなかった。負けた選手が記者会見開くなんておかしいのに、記者会見しなきゃダメだって言われて。—誰が言うのですか。

川内 メディアじゃないですか(笑)。でも、坊主になったおかげで、一応収まりました。そうするまでは、職場にも電話がかかってくるんですよ。

—それだけ期待されていたんです。勝って欲しかったんですね。川内さんはいろいろ話題を提供してくださる方です。学生時代予選会では、昭和記念公園に入ってから70人抜いたとか。ギネスにも載っているということですが、それは何の記録で?

川内 フルマラソンで2時間20分を切った回数です。大会に多く出ている、プラス一定水準以上で走っているということです。この記録の2番手のアメリカの選手が40年かけて作った記録を、10年ちょっとで抜きました。

—すごいですね。公務員時代にエジプトへ招待選手で行かれた時のこと。今だから笑えますが。

川内 招待されてビジネスクラスも用意してもらって、知事の表敬訪問もしたのに、パスポート忘れて飛行機に乗れなくて走れませんでした、なんて言えないですよ。あの時も間違った情報が流れて、「パスポート忘れて80万円自腹」なんて書かれましたが、あれ、自腹には間違いはないですが、261,000円ですから。しかも、エジプト大使館から厚意で返金されたなんて書いてありましたが、返されてないですから。—でも、自分が悪いんですから(笑)。

川内 そうなんです。でも、エジプト大使館が厚意で負担してくれたと、事実と異なることが書かれているのは、困ります。ウィキペディアにはそういう間違いが多いですね。

—(笑)川内さんは法学部のご出身ですよ。勉強もされていたとか。

川内 やっていましたが、真面目に。大学時代には「安倍能成賞」とかもいただきました。政治が好きなんです。

—弟さん(鴻輝さん)も久喜市の市議ですもんね。川内さんは文武両道で、3回目のインタビューの時に、マラソンでも公務員でも、どっちの道へ行っても、ある程度の所まではいけるんじゃないかとおっしゃっていました。

川内 このまま公務員を続けていって、例えば課長とか部長とか役がついた時、「また今回もマラソンでないんですよ」という訳にはいかないですよ。そう思った時、自分はマラソンと公務員の仕事、どっちがやりたいのかと考えました。それはやっぱりマラソンでしょう、と。当時、自己ベストをもう5年以上更新できなくて、決断するなら今だ。ここが最後の決断になる。ここで公務員を選んだら自己ベストはもう更新できない。長く細々と走ることはできても、それが自分の限界になってしまうと思います。一方マラソンは、先はわからないけれど、可能性があるじゃないですか。結果的に自分の限界を超えることができたわけですし。

—確かにそうですね。すばらしい決断だと思います。2012年のインタビューの時は、とても強気でしたけど(笑)。

川内 若かったんです。イケイケでした。その後2014年12月に足首を捻挫して1年間くらい思うように練習できなくて、悪天候のボストンマラソン優勝等はありませんでしたが、2時間9分を切れなくなりました。当時は厚底ブームになって周囲のタイムがどんどん上がって行く中で、自分は9分とか10分とかでウロウロしている。

川内優輝さん

マラソンランナー。あいおいニッセイ同和損害保険株式会社所属。1987年生まれ。春日部東高校から学習院大学法学部へ。箱根駅伝では学連選抜として6区山下りを2回経験。大学卒業後、埼玉県庁へ入庁、県立春日部高校校定時制、県立久喜高校校定時制で勤務する傍ら、練習を重ねる。当時は出勤するスーツ姿で走ることが話題になった。2019年4月からプロランナー。自己ベストは2:07:27(2021年びわ湖毎日マラソン)。2011年テグ、2013年モスクワ、2017年ロンドン、2019年ドーハの世界選手権に出演。アジア大会は2014年仁川に出演している。2018年のボストンを始め、海外での優勝経験も多い。えくてびあんのインタビューは、2008年、2009年、2012年、2015年に続き今回が5回目。人が成長していく姿を目に見せてくれている。

—インタビューの頃には7分とか6分とか言っていたと思います。

川内 まさにそうだったんです。理想ではなくて、あの頃はそれが見えていた。ところが見えていたものがだんだん遠くなっちゃって、心の中ではその水準にまで行きたいというものがあって葛藤は大きかったです。だから、去年びわ湖で7分出した時には、メチャクチャ嬉しくて、思わず藤原(新)さんを見つけて「勝ちました!」って言っちゃったんです。

日本でも最近では4分、5分の時代なので、最初から突っ込んでいく試合が多くなりました。だから置いて行かれるともうつけないんです。何人かは落ちるんですが、集団が大きいのでみんな残っちゃうんですね。

—なるほど。みんなで走っちゃうわけですね。テレビで見ていると、追いつけそうに見えるんですけどね。

川内 それを追いつかないんです(笑)。自分もスピードが無くなっている上に、周りが速くなっていますので、どんどん差がついちゃって。プロになる直前直後くらいは、10kmとか15kmとかで離されちゃって。そうなるとうちうち追えませんが、それが今回大阪・びわ湖毎日マラソンでは30kmくらいまでついていけることができたので、大丈夫だと思いました。

—川内さん、根っこは変わらないけれど、ずいぶん柔らかくなりましたよね。陸連を変えるとかおっしゃっていた時は、とんがってたかな。

川内 若かったんです(笑)。陸連もだいぶ変わりました。今、私は陸連のロードランニングプロジェクトメンバーですから(笑)。

—瀬古さんの対応も変わりましたもんね(笑)。

川内 いろいろな所を通らせていただきましたが、公務員時代のスキルは生きてますよ。確定申告は自分でやっています(笑)。コロナで試合もイベントもなくなっちゃって、じゃ勉強するかと思って、合宿しながら資格をとったんです。国内旅行業務取扱管理者という旅行代理店を

開くことができる資格です。—それはすごい。学生時代からおっしゃっていましたよね。観光や温泉が大好きで、詳しい。

川内 詳しいです。だから記者さんから「いつか『地球の走り方』って本を出すといい」と言われました(笑)。

—それはまったくだわ、パクリだけど。ところで、プロになられてスポンサーさんにあいおいニッセイ同和損保を選ばれた理由はなんでしょう。

川内 「川内さんが世界で日の丸をつけるのを楽しみにしている」とか、「ユニフォームにうちのロゴがついているのをテレビで見られれば嬉しい」とか、そういう言葉が多かった中で、あいおいさんは少し違って、「オリンピックに出てくれれば嬉しいし、ロゴも入ってくれれば嬉しいけれど、川内さんと契約したい理由は、川内さんは日本全国いろいろな大会を走っているから、先々うちの支店支社と協力し合って大会を盛り上げる形で、マラソンキャラバンのような地域貢献ができないか」とおっしゃったんです。私は旅行が好きですから、ありがたいお話でした。

—本当に日本全国、小さな大会にも参加されていますもんね。他にスポンサーさんは。

川内 「ウイダーinゼリー」の「ウイダー」がとれて「inゼリー」になった森永製菓、シューズのアシックス、空気清浄機などのフジコーです。—前述の藤原さんもプロになられましたよね。

川内 はい。プロランナーで一世を風靡しました。先駆けです。私は藤原さんを、反面教師にしてプロとしてやっています。藤原さんがやっけて、よくなかったなと思うことはやらないように。藤原さんがスポンサーをたくさんつけた時、疑問に思ったので、私は少数精鋭で(笑)。

—ランナーもいろいろな道があるんですね。昨年、立川にあるコトブキヤの宣伝ランナーか



らコモディイダの駅伝部に転向した稲田翔威さん取材しました。どうしても駅伝をやりたいと言って、元旦に実業団駅伝に出演していました。**川内** あの号のえくてびあんなは思い切り読んじやいました(笑)。稲田特集来た〜と思いましたね、稲田選手、最近コモディイダの練習でめっちゃ強いよ〜って。

—コモディイダの特集番組をテレビで見たら、川内さん一緒に走っていらっしやいました。

川内 そうなんです。コモディさんと一緒に練習するようになってからスピードが上がるようになって。駅伝重視チームですから、スピードがマラソンには十分なんです。正直なところ、プロ1年目は時間ができたので、逆方向に行ってしまったんです。練習し過ぎてしまった。月に1000kmくらい走っていましたが。そうしたらスピードが落ちてしまった。それでドーハ世界陸上で失敗してしまいました。今は公務員時代にプラス100kmくらいです。1日平均3km増やしたくらいですね。

—川内さんご一家は、奥様の侑子さんはもちろん、弟さんたちやお母様も走っていらっしやいますね。

川内 はい。今年も福島県川内村のマラソン大会に家族で参加してきます。小さな町のマラソン大会こそ、応援したいですね。

インドカレーハウス
UMA TSUKEMEN




カフェ ムーンハウス

初夏の風にのって

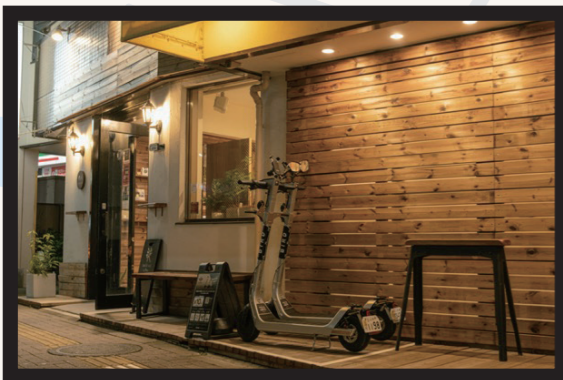
BIRDを知っていますか

立川で実証実験中の電動キックボード。
2021年10月から始まった実験は、最初はモノレール下の狭い範囲から、
今は立川市内全域から近隣市まで広がっています。
アプリひとつで利用、決済までできてしまう簡単な乗り物です。

小型特殊車両ですから、車道しか走れない、運転免許がないと利用できないなどと、簡単と言いつつちょっとめんどうくさい。でも歩くよりはずっと楽で速いし、何より風を受けて気持ちがいい。駐車ポートは日々増えていっていますから、利用しやすい乗り物です。危ないとか怖いとか、いろいろご意見はあるでしょうが、興味があったら乗ってみて、風を感じてみませんか。ただし、2人乗り、飲酒運転はNGです。地図の中へのBIRDマークが駐車ポートです。ご参考にしてください。



KINGSMAN TOKYO
BARBERSHOP TACHIKAWA



Kashinoki coffee

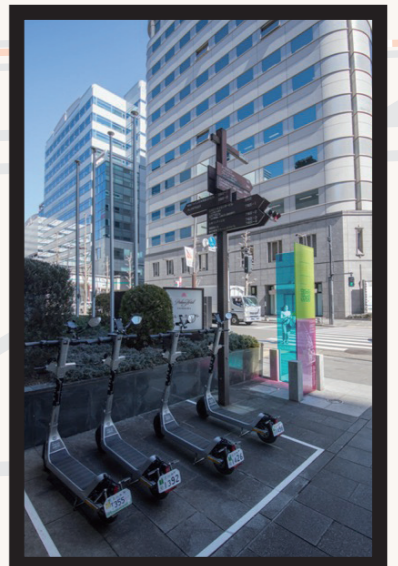


タチヒビーチ

中華料理 サンフジ



ファーレ立川 ハレスホテル南側



えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 柴崎町・富士見町・緑町・泉町・西砂町
 一番町・上砂町・砂川町 のお店です。

- 柴崎町**
- 立川ワシントンホテル.....548-3380
 - Coffee Shop LARGO.....525-6704 (株) けやき出版.....525-9909
 - ペーカリー&カフェ BAKU BAKU 527-2721
 - 喫茶 ギャラリー花.....524-3668
 - 髪職人 YOSHIZAWA.....522-5593
 - のーがる.....512-5415
 - 矢沢歯科.....525-6600
 - キッチンコート立川店.....540-1131
 - LaLaLa.....090-2564-3198
 - 酒 醒醐.....522-4926
 - スープカフェ なんでもない日 523-5114
 - 武本測量 (株).....524-7731
 - 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
 - NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112

- 富士見町**
- (株) 浅見酒店.....522-2823
 - 西村歯科クリニック.....519-9501
 - 井上レディースクリニック.....529-0111
 - 中華レストラン 東華園.....529-0458
 - 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866
 - 飯塚花店.....522-5684
 - うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054
 - びーびーK70.....525-3623
 - (株) ホーミー.....522-2220
 - カフェ・貸しホール ばくだん畑 522-2214
 - 波多野米店.....522-2884
 - 立川市社会福祉協議会.....529-8323
 - 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
 - 乙黒東洋整骨院.....523-1859
 - インテリア アイアイ.....522-5972
 - たましん 富士見町支店.....528-1741
 - 滝ノ上米店.....522-4019
 - ESPOA おぎの.....522-4500
 - 建築リフォーム (有) 日防商会 0120-263821
 - (株) 立川印刷所.....524-3268
 - 日本交通立川 (株).....528-2151
 - 松栄寿司.....524-6958
 - ふじみ食堂.....523-4791

- 緑町**
- たましん 本店.....526-7700
 - GREEN SPRINGS info 524-2222
 - Adam's Awesome Pie 595-8375
 - 国立国語研究所.....540-4300
 - 国立極地研究所.....512-0652
 - 南極・北極科学館.....512-0910
 - 国文学研究資料館.....050-5533-2900
 - 花みどり文化センター.....528-1751
 - 昭和天皇記念館.....540-0429

- 泉町**
- インヴォラーレ・ルーデンス
 - 立川ルーデンステニスクラブ 525-9677
 - blooming bloomy 55ぼーと立川立飛店 548-1215
 - Café はあもにい 512-7810
 - 大和ハウス工業 (株) 多摩支店 525-1821

- 西砂町**
- 砂川庵 甚五郎.....531-6788

- 一番町**
- 私立立川ひかり保育園.....531-1273

- 上砂町**
- B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
 - fresh shop スーパーはしもと 536-2331

- 砂川町**
- みのーれ立川.....538-7227
 - 陶工房 己流庵.....537-6102
 - たましん 砂川支店.....535-4411
 - 珈琲豆焙煎工房 まめ吉.....535-1070

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は
 スマホアプリ「スカパー!番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

桜の下に稚児行列

今年も3月27日と28日、立川南口の風物詩「真如苑の稚児行列」が春らしい穏やかな陽気の下、行われました。太鼓と笛のどこか懐かしいメロディが流れる中、烏帽子や天冠など古より伝わる衣装のお子さんたちが練り歩きます。3月28日は、立川で立教された真如苑の開祖 伊藤真乗様のお誕生日。お稚児さんたちは諏訪の森を通して、真如苑総本部まできれいな行列を作って進みます。美しい一幅の絵巻のようでした。



諏訪の森広場で



柴崎町の商店街で



高級産婦人科が登場します

3月24日、ららぽーと立川立飛の近く、立飛ブルワリーの北側に(仮称)産婦人科クリニックが新築されることになり、3月24日に地鎮祭が執り行われました。まだクリニックの名前が決まっていないということでしたが、産婦人科と小児科が入る予定。産婦人科では18人が入院できる体制になるそうで、外観もいわゆる医療施設ではない、かわいくておしゃれなものになるのだとか。おしゃれな空間ならきっと入院中の食事もおいしいんだろうなあ、ということはお高いんだろうなあ、などと想像は膨らむばかり。立飛駅近辺では先ごろ「MAOリンク」が話題になりましたが、新しい街が生まれつつあります。



諏訪神社さまの祭司で



関係者みなさんが玉串を捧げます

東北の桜 されいに咲きました



東京立川ロータリークラブの皆さん



現地に設置された案内板



石碑と銘板も設置されました

先月4月号でもお伝えしましたが、パレスホテル南側に桜が3本植樹され、それに併せて10年前に植えられた東北の桜にも銘板がつけられました。東京立川ロータリークラブでは、「東日本大震災を風化させない」という意味を込めて、被害の大きかった東北3県、岩手、宮城、福島から桜の苗木をもらい植樹しました。今年10年を迎えるに当たり、既存の桜の周囲を西国立保育園の園児と一緒に清掃、さらに3本追加植樹したことを記念して、3月11日に桜の前で記念式典を行いました。あまり日が当たらないからどうかと心配する声もありましたが、4月に入ってもきれいに咲いていて、通る人の目を楽しませてくれていました。

優マーク 更新です

伊勢丹立川店さんが優マークを更新され、立川消防署内においてその交付式がありました。正式には「優良防火対象物認定証交付式」です。優マークとは、防火に優れた安全・安心な建物の証です。東京都の「優良防火対象物認定表示制度」により、防火安全性の高さを評価された優良な建物だけが表示できるマークです。優マークがある建物は、厳しい審査をクリアして法令の基準以上に高い防火安全性に取り組んでいる建物ですから、もしもの時も安心して過ごせるというわけです。伊勢丹立川店さんは、今回6回目の更新だそうです。自衛消防隊の教育もしっかりされています。利用者にとって安全・安心はとても大事ですからありがたいですね。東京消防庁では優マークを交付された建物を一般公開しています。「防火対象物の安全に関する地図情報」を検索すると建物の情報を見ることができます。



佐藤芳邦立川消防署長と、株式会社三越伊勢丹 伊勢丹立川店 総務・業務部長の渡部洋子さん

表紙

日の出のスカイツリー
 「こういう構図が好きだなあ」と、どこからか聞こえてきそうな気がします。本年2月号の表紙には、多摩川の初日の出を日野橋から拝む人々と一緒に写し、昨年11月号では333mの東京タワーを包み込むように昇ってくる満月をお届けしました。満月はとても大きく見えて、色も太陽と似ています。でも冬空はすでに真っ暗、手前に写るビル群では、まだ人々が活動していることがわかります。今月の日の出はグランデュオ立川の屋上から撮りました。634mのスカイツリーを包み込むように見えるかと思いきや、太陽は遠かった。スカイツリーの先端の青い光は、明け切らない朝ぼらけの中に光っています。まだ眠りから覚めない街の空気が感じられます。朝5時から、グランデュオ立川さんにはお世話になりました。ありがとうございました。

かたこと

◆新年度になりました。新しい環境に身を置くことになられた方も多いことと思います。世界に目を向けると、どんな状況にあっても命あることに感謝していきたい昨今です◆えくてびあんも、裏表紙に新しい企画の登場です。「なんでもない日」には、いろいろな方が来られます。手作りグッズや絵本が溢れるカフェに、毎週自宅に咲く花を、手作り花器と一緒にのお持ちになって、カフェを明るく飾るのが大森良子さん。本職はご主人共々音楽家。陶芸も長い年月されています。大森さんの生けた花の写真に、エッセイをつけて12回。楽しみです◆先月号で山下洋輔さんがタモリさんを発掘した話を掲載しました。なんと、今号ご登場の川内優輝さんの亡くなられたお父様は、田辺エージェンシーにいらしてタモリさんと関わりがあったのだとか。世の中はどこで繋がっているかわからない。川内さんの弟 鮮輝さんは国分寺市役所にいらっしゃるそうで、こちらも立川とは地続きの関係です◆電動キックボードの実証実験については警視庁や経済産業省のHPにもアップされていますが、特例措置の対象となっている「特例電動キックボード」であれば、例えばヘルメットは任意であるとか、自転車道を通行できるとか、押して歩いていけば歩行者とみなされるといった特例措置が認められています。自分で購入した電動キックボードにはヘルメットが必要ですよ。念のため。とはいえ、道路を走るのにはやっぱり怖いえくてびあんです。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ㊄

5月号 第38巻 通巻446号

令和4年5月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL https://www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



窓辺のミモザ 大森良子

私の立川 私と立川

スープカフェなんでもない日の穏やかな日々

立川市の南に根川緑道という散歩道があります。多摩の四季を感じることでできる遊歩道。咲く花、吹く風、飛ぶ鳥に心奪われながら歩いていくと、小さなカフェに出合います。このシリーズの舞台『スープカフェなんでもない日』です。店主は中倉真知子さん。根川緑道に魅せられて、八年前にカフェをオープンさせました。以来、お散歩のワンちゃんが寄っていたり、小学生が雨宿りしたり。

『なんでもない日』はスープカフェですから、スープがメイン。お肉やお魚、カフェによくある盛りだくさんなワンプレートが出てくるわけではないのですが、冬には温かく夏には冷たいスープが嬉しくて、お客様はひっきりなしに訪れます。年齢も国籍も職業もさまざまなカフェに集う人の中から、今回は女性ばかり十二人に短いエッセイを書いていただくことにしました。題して「私の立川私と立川」。どんな方のどんな人生のひとコマをのぞくことができるのか、楽しみです。来月は店主中倉真知子さんの登場です。乞うご期待。写真の花と花器は、いづれも大森良子さんの手によるものです。こちらも毎回お楽しみ下さい。